

会 議 録 (要 旨)

会議の名称	第6回戸田市スポーツセンター基本構想策定委員会
開催日時	令和7年7月31日(木) 午前9時30分～午前10時30分
開催場所	戸田市役所 7階 第5委員会室
出席者氏名	<p>学識経験者（日本薬科大学特任教授兼埼玉県スポーツ協会専務理事）久保 正美</p> <p>学識経験者（拓殖大学教授）松橋 崇史（オンライン参加）</p> <p>学識経験者（平成国際大学専任講師）秋本 成晴</p> <p>戸田市レクリエーション協会 山崎 雅俊（代理出席）</p> <p>戸田市スポーツ推進委員連絡協議会 平野 秀明</p> <p>公益財団法人戸田市文化スポーツ財団 赤坂 直樹</p> <p>戸田市中学校体育連盟 渡部 淳子</p> <p>戸田市 副市長 豊島 浩明</p> <p>戸田市企画財政部長 渡邊 昌彦</p> <p>戸田市市民生活部 秋元 幸子</p> <p>戸田市環境経済部長 香林 勉</p> <p>戸田市健康福祉部長 櫻井 聡</p> <p>戸田市都市整備部長 早川 昌彦</p>
事務局	市民生活部次長、（文化スポーツ課）戸田市スポーツセンター再整備プロジェクトチーム、パシフィックコンサルタンツ株式会社
議 題	<p>(1) 基本構想検討範囲の拡大について</p> <p>(2) 基本構想策定に向けた今後の論点</p>
会議結果	<p>基本構想検討範囲について、既存施設を活用した整備に関する検討も行うこととした。あわせて、検討範囲拡大に伴い構想策定スケジュールも再度検討を行うことを確認した。</p> <p>また、公園、アーバンスポーツ、屋外休憩施設、eスポーツについて、事例や課題を確認し、基本構想作成に向けて引き続き検討を進めることとした。</p>
会議の経過	別紙のとおり
議事録確定	令和7年8月18日 委員長 久保 正美

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	■開会
事務局	■新規加入事務局員の紹介
委員長	■議題（１）基本構想検討範囲の拡大について説明をお願いしたい。
事務局	■議題（１）基本構想検討範囲の拡大について説明。
委員長	基本構想検討範囲の拡大について意見などをお願いしたい。
	意見等特になし
委員長	基本構想検討範囲の拡大と、それに伴う構想策定スケジュールの再検討について了解いただけるか。
	異論なし
委員長	■議題（２）基本構想策定に向けた今後の論点について説明をお願いしたい。
事務局	■議題（２）基本構想策定に向けた今後の論点について 公園に関する検討、アリーナ整備の方向性、その他施設等の方向性について説明。
委員長	基本構想策定に向けた今後の論点について意見を伺いたい。まず、資料２から意見を伺いたい。
	意見等特になし
委員長	昨日の津波のニュースなどからも、防災の観点は重要だと感じる。
委員長	では、次の資料３のアーバンスポーツについて意見を伺いたい。
委員長	中野区立総合体育館ではクライミングウォールをトレーニングルームに併設していたかと思う。
事務局	トレーニングルームのスタッフがいるため、ケガの対応などができるようになっていた。安全ロープもついており、監視員が常時いて指導・見守りができている印象であった。
委員	BMXの施設規模はどのくらいを想定されているか。
事務局	規模については、スケートボードと一緒に使用している事例なども含め、公園の面積などを考慮しながら検討していきたいと考えている。なお、BMXやスケートボード実施可能エリアを設置する場合、専用のセクションなどの設置は想定しておらず、初心者向けのものを想定している。
委員	検討課題で周辺環境を考慮するとあるが、音などが問題となってくるかと思っている。事務局としてはどういう認識でいるか。
事務局	現状、市内の３×３施設で様々な意見を頂いていることについて、公園担当者と情報共有をしている。運動施設として施設して管理する場合と、公園で24時間フリーに入るこ

	とができる場合とでは、周囲への影響が違っていると考えている。また、敷地内のどこに配置するかでも変わってくるかと思う。なお、どのような時間帯に利用できるのかなどがポイントになると思われるため、実際にアーバンスポーツを行っている方がどう思っているか、情報交換を行いながら検討していきたい。
委員	3×3施設を市内で見かけるが、高校生が多い一方、小学生も利用している印象である。利用者間のトラブルなどはないか。
事務局	市内や近隣市の3×3やバスケットボールのコートの担当課からは、トラブルの事例について、特に近隣住民から騒音に関する苦情が来ていると聞いている。 一方利用者間で交流が生まれているという話も聞く。その他、大人用と小学生用で高さの異なるゴールを設置し、対象を分けることなどの検討は可能か思う。
委員長	公園としてオープンにするか、運動施設として管理するかというところで違いが出てくるのではないか。
委員	BMXやスケートなどは初心者向けを想定しているかと思うが、専用の道具などは、貸し出しするのか。運用の面もあるかと思うが、道具を持っている人しか利用できないのではないか。
事務局	類似施設を調査したところ、基本的には、持ち込み施設が多く、ヘルメットの着用必須などのルールを設けている。なお、事例であげている渋谷区の宮下公園については、道具をレンタルできる。 地域で競技を統括している地元のキーマン的な方に、管理に関わってもらっている例も聞いている。例えば、体験会や教室を開いて競技人口を増やしたり、道具をレンタルできるようにしたりすることで、興味のある未経験者の方に体験してもらえる機会を増やしたという事例がある。
委員	運動施設として管理していくのか、公園としてオープンにしていくのかというところが大きいと思う。公園内に設置するため、管理から外れるものではない前提であるとは考える。 クライミングについては、利用者の志向をしっかりと把握する必要がある。有料施設は一定期間でコースが変わっていくのが特徴的である。利用者満足度をあげることを考えたとき、どのように対応していくかがポイントになるかと思う。 スケートボード場と言うと、大規模なものから少し規模を小さくしたものまで、いわゆるスケートボード専用施設があるほか、専用施設ではないが、スケートボードが使用できるエリアや時間を設けるという方法もある。エリア内の施設・設備を耐久性のある壊れにくい仕様とすることで、スケートボードなどもできるようにしているという事例も聞いている。いずれもコミュニティがしっかりしているとうまくいくのかと思う。コミュニティを束ねるものがないと難しいかもしれない。パークールやスラックライン、B

	MXなどは、開かれた場所や公園などで使用可能とすると、音などへの配慮が必要かもしれない。
委員長	では、資料4の屋外休憩施設について意見を伺いたい。
委員長	県営施設なども屋外休憩施設が充実しているところが少ない。特に、近年の猛暑による競技者の体調などを考えると必要な機能と考える。
委員長	現状の陸上競技場用の屋外トイレがないことは課題かと思う。
委員	大会開催時は、第一競技場の一部を開放して休憩所として利用したり、館内のトイレを使用したりしている状況であり、屋内施設利用者との動線交錯が課題になっている。分ける必要があると思う。
委員長	それは、解消すべき課題かと思う。
委員長	次に、資料5のeスポーツについて意見を伺いたい。
委員	eスポーツというとテレビゲーム的なイメージを感じるが、戸田のボートとの組み合わせはとても面白いと思う。ただし、イメージしているeスポーツとは違うと思う人もいるとは思っている。
委員長	eスポーツについて、国や県としてもまだ定義や方向性ははっきりしていないようであるが、注目度は高く、集客・集金という点でも期待は高いのではないかと。県民総合スポーツ大会でもeスポーツ部門があり、資料でもあるようにイベントなどを行っているため、認知されていくと思う。 埼玉県スポーツ協会と戸田中央病院、民間企業が連携し、今年1月に戸田市内でボートのクリニックを開催した。戸田はボートのメッカであるため、ローイングの導入は特徴を生かしたまちづくりなどの可能性として良いのではないかと考えている。
委員長	他に意見等ないようであれば、これで協議を終了とする。
事務局	■その他・連絡事項 次回の委員会は、11月頃を予定している。議題としては、議題1でご説明した、既存躯体を活用した事業手法の検討状況や、サウンディング調査の内容、施設機能の検討として器械体操・相撲・屋上利用について取り上げる予定である。日程調整の連絡をさせていただく。
事務局	■閉会